

キャラクター名
翌檜 鷹愛

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	高校生
	ハヌマーン					
オプション			年齢	15	性別	女
覚醒	無知	衝動	殺戮	初期侵食率	33	%
出自	兄弟	経験	逃走	邂逅	師匠	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	2	1	0			3	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
上から失礼しますわ	RC	3r+1		33		サイレンの魔女+さらなる波、コスト7
動かないでくださいまし	RC	3r+1		33		サイレンの魔女+さらなる波+疾風迅雷、コスト10
鷹の急降下を御覧遊ばせ	RC	3r+1		33		サイレンの魔女+さらなる波+疾風迅雷+ライトスピード、コスト15

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品<お面>	
扇	
コネ:要人への貸し	
情報収集チーム	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:神速の担い手P		N		
翌檜 鷹	P 尊敬	N 劣等感		
玉野椿	P 信頼	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
疾風迅雷	3	3	メジャー					シナリオIV
効果:	ドッジ禁止							
サイレンの魔女	7	5	メジャー	視界	シーン(選択)			
効果:	攻撃力×lv3、装甲無視、コンセ×							
さらなる波	6	2	メジャー					
効果:	攻撃力lv×2							
ライトスピード	1	5	マイナー		自身			シナリオ100%
効果:	メジャープロセスを2回、C値+1							
スピードスター	1	3	セットアップ					ロイス1シーン
効果:	使用したラウンドの間、ダメージに+行動値。リアクション不可になる。							
七色の声	★							
効果:								
空の楽器	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

私が五つの頃、才覚を発揮し始めた時分だった。ある日、鷹のように愛される、そのような意味を込めて鷹愛と名付けられた。同時に兄も名を与えられた、できの悪い鷹だそう。私の名は兄と比較して付けられた名だったものの、煩わしくてしょうがない。

私が九つの頃、兄が縁日に連れて行ってくれた。同い年の女の子が付けていたお面に目隠れていたら、兄が買ってくれた。安物を身につけさせると捨てられたけど、直ぐに拾って洗った。私にとっては何よりの宝だ。

私が十一になった頃、兄が家を出て行った。誰も追わなかった、追おうとしたけれど、家の者に止められた。きっと私が不甲斐ないせいだ、私に愛想を尽かしたから出て行ったからに違いない。でも、何をどうすれば...そう、淑やかにしろ。そうすれば兄も生まれ変わった私を見て戻ってきてくれるかもしれない。淑やかにしろねば...ならなければなりません。

十四の春、兄を待ち続けて二年と半、妙な感覚を覚えました。まるで私が人の域を越えたかのような...そして天啓を授けられました。待つのではなく追えば良いと。以前とは違い私には溢れんばかりの力が満ちております。これならば家中の者も止められません。

十四の秋、玉野椿という方と出会いました。力の使い方を教えて下さるとのことでしたが...そんなことに時間を割く暇などございません、少し潰れて頂くことと思ったら捨られました。負けてはいませんが、油断しただけです。

十五の春、縁が色付き始め、生命の息吹を感じる頃合いになりました。今日は椿様から初の任務を言付けました。年増からの命令など...いえ、不要なことに時間など割きたくはありませんが、これも兄様を見つけるため。風の噂でほくあいと名乗るえーじょんとがいるそうで、鷹を愛するという正に私を愛するという名を冠しているではありませんか。兄様の予感がします、がなぜか一切情報が回ってきません。偶然会う可能性もありますので任務にそれとなく励みます。会って喜ばれるかはわかりませんが、それでも兄様と一目お会いしたいのです。